千木親和町会 しんわニュース

発行年月:2021年3月/第86号
発行元：千木親和町会
編　集：広報委員会

速報・令和三年度総会日程が決まりました・4月29日（木・昭和の日）午前九時から・詳細案内は後日お知らせします

桶谷省三　町会長急逝さる

新年早々驚きの訃報が知らされました。

2003年から10年間町会の会計を担当、2013年からは町会長として8年間をご尽力下さいました。
ここに感謝と哀悼の意を申し上げます。　　合掌

役員選考委員会開催（2021.2.22 -月- 19:00 公民館）

出席者：執行部（4名）元町会長（4名）広報（1名）
会則第7条の2により次期役員選考、とりわけ町会長について討議がなされました。
町会長逝去後、紺野利晃副町会長が代行を務め、急を要する事案（町会倉庫・防災機材倉庫設置場所継続の申請、公園等清掃補助金申請、民生委員の届け出等々）を切れ目なく手続きを完了した旨報告されました。
会議に先立ち相談役を交え執行部として、橋工事の支払い、次期町会費の扱い等検討したとして、工事費は昨年末開催の第一回拡大役員会席上決定した、補助金と町費持ち出しで支払うこととし、特別会計より支払う案を共有、新年度町費は今年度（2020～令和2年度）町費を支払った一般家庭には会計決算を見た上で概ね半額が良いのではとなりました。本会合の主目的の”次期町会長に付いて”は、今野利晃さんの内諾を得た上で、町会長職に就いてもらい、今後の体制を立てる事となりました。この会合の起案は、次回拡大役員会で披瀝され承認を得る事にする～となりました。
そこで詳細は次回役員会の記事に重複するので、以下の拡大役員会開催記事を参考にして下さい。⇣

第2回千木親和町会拡大役員会開催

2021年(令和3年)3月3日（水）19:00～
公民館2階ホール、出席16名。

コロナ禍の影響で、入室にあたっては体温測定、手指消毒、マスク着用、窓開放という厳しい条件下で開催されました。屋外気温と同じ寒さで、出席された皆様には本当にご苦労さまでした。
紙面の都合で概略のみ書かせてもらいたいと思います。疑義がある方は、総会席上ご質問等して頂ければ宜しいかと思いますので、よろしくお願いします。（以下　会議内容　概略）

- 定数確認と会議成立の確認、本会議が成立する。
- 会議開始前に　故桶谷省三様に一同黙祷。
- 町会長逝去を受け緊急役員会（執行部）開催。その後相談役との協議の結果、役員選考委員会と役員会開催等、今後の対応について話し合われる。
- 各種申請書類の提出完了。（紺野さん報告）
- **柳橋川に架かる橋の工事代金について**修繕費用

  特別会計から支出する事を満場一致で決定。
  金沢市からはこの補助金は「**私道整備工事**」名目であることを付記しておきます。
  12月の拡大役員会で「受益者負担で金額割をせず、町会一丸で支出する」と決まっており、橋の利用者を特定すること無く、皆で協力し合うとの精神に基づくことが了解されていることも付記しておきます。今後も大雪の除雪や、災害時の出金など、上記の精神に乗っ取り(特別会計出金の)運用に当たると言う約束です。
- **新年度の町費について**前年度はコロナ禍のなか、行事もほとんど無く、行事を通じての町費還元機会も無かった事から、**新年度町費を半額とする案が満場一致で決定**。
  ちなみに校下の類似組織が、半額返金や商品券還元、次年度割引などを採用しているのを参考にさせてもらいました。
  一般家庭一世帯　一ヶ月　　**円を半額に。**
  ６５歳以上で一人暮らし世帯、一ヶ月　　**円を同じく半額に。**
  アパートの世帯　一ヶ月　　**円を同じく半額に。**
  事業所協力金　**一年間**　　**円を据え置く。**
  ただし **2020 年度全額を納めた世帯等が対象**となり、新規に加入予定の世帯(所帯)については、対象外とすることとなりました。
- 現状の書類上の会計残高は　　円。
  すでに収めてある地域コミュニティの会費が今後幾らか払い戻しがされるなど、会計処理は事態が錯綜しております。また年度末徴収の事業所協力金、アパート等の町費未収分など、不確定要素が多く、来年度の町費で調整せざるを得ない要素があり、上記の決定に至ったことを付記します。
- **総会日程について**昨年同様「書面での評決による総会形式」で良いかという提案に、決議直前相談役から「対面での総会にする案」が提案されました。変異ウイルスの蔓延が危惧されている最中ですが、感染防止策を徹底すれば可能であるとのことでした。そうした総会開催を見据えて、公民館ホールの予約を（予備日も含み）2日間予約してあるとのことでした。結果3月21日（日）午前10時～は書面整備、議案書作成に時間がかかり間に合わないということで排除、3月26日（金）夜7時～にできれば開催という流れになりましたが、町会長急逝、コロナ禍緊迫の緊急事態と言うことから、**4月にずれ込むか**、あるいは**書面での決議になるか**は年度末まで判断が延ばされました。
- 役員会議案書には、**次々年度**に向けての新執行部の体制についてという項目が有りましたが、直近の**次年度が先**として、町会長立候補者がなければ、内諾を得ている紺野様に町会長を受諾してもらい、他の役員はもう一期継続をするとして承諾をもらいたいということでした。↗

↘ 次年度中に「役員選出基準検討委員会」(仮称)を立ち上げ各種役員のルールを作る予定とのことです。

・尚、班長、児童委員の一年任期の役員はスムースに引き継ぎをお願いしたいとのことでした。
欠員の出来た執行部の補充、また止む得ず退任する役員も、できるだけ人材を引き当てされるよう要望が有りました。若い会員の方々の参加を心より願う次第です。　　　　-概略は以上です-

役員選考委員会の様子

執行部、歴代町会長経験者、広報委員

拡大役員会

開催に先立って、桶谷様に哀悼の黙祷を捧げる役員の皆さん
(１６名)

30 年間ゴミの管理を続けて

町会員の皆さん、不燃ごみやビン、資源回収の集積場所に必ず立ち会っておられる方をご存知でしょうか。
もちろん多くの会員さんはご存知ですが、近年越して来られ、町会に加入された方には、まだご存知無い方もおられるようです。　言うまでも無く「谷﨑二郎さん」です。
谷﨑さんは 1980 年代からゴミ集荷場の管理にあたっておられます。1991 年（平成 3 年）ご自身が千木親和町会の町会長になってからというもの、本格的にゴミ問題に取り組まれ、指導にあたってこられました。とりわけご自身町会長の 10 年間は分別が厳しく決められ、いつどこへどんなゴミを出して良いのか混乱した時期にあたります。
分別のことは現場で谷﨑さんに聞けばすべて教えてくれるという具合でした。分別やマナーを周知するために「立ち番制度」が設けられてからも、現場へのカゴやネットの搬入をお一人で続けて来られました。環境委員として 2001 年から現在までの 20 年間を合わせると 30 年以上 現場に立ち会われたことになります。ゴミの有料化になってからは、少しはゴミの量が減ったりしたものの、やはり燃やさないゴミ搬入現場では不測のゴミが山積みされることなどもあって、大変なご苦労をされたと聞きます。
環境委員が設けられ、谷﨑さんをアシストするようになったとは言え、なかなかすべての日に出られる訳でもなく、谷﨑さんお一人の日も多かったようです。当番さんは、雨の日も雪の日も出ておられたシーンに出会ったことでしょう。時代の流れで若い方が早朝出られないと、町会に申し出たことが有りましたが、複数人で担当ですので融通しあって出られることを望みます。 2 年に 1 回程度ですが、ご家族に分別の仕方を聞かれた際に立ち番経験が役立つでしょう。 今年、雪の日に取材に行きましたが、石油ストーブを持って来られ、暖をとりながら当番さんとゴミの話や世間話をしていました。(^^)　本当にありがたいことです。
長い年月指導されてきましたが、お歳もその分増えた訳で、そろそろ楽をしてもらいたいと切に願っております。
新しい執行部で立ち番制度も一考されることに期待します。
谷﨑さんには本当に感謝しか有りません。
長いあいだご苦労さまでした。

２月の雪の日。
谷﨑さん、山田さんと当日の当番さん。
早朝「ギターはここに捨てていいですか」と訊く方がいました。

あなたは「草履袋」って知っていますか

（編集後記にかえて・編集委員 稲森）

草履袋と聞いてすんなり分かる世代と「何それゾーリ大臣」と茶化す世代？あるいはアルマイト（←何これ？）の食器袋も一緒に持って学校へ通った世代でしょうか？
今の子供達も体操着や図画工作の用具、音楽楽器などランドセルの他に大きな袋を持って通う小学生を目にします。　さて草履袋世代も当町会では少なくなってきたようです。流石に学校で草履を履いた経験は無いかと思われるが、明治以降使われた言葉は長く残った。下駄箱（コレも下駄を履いて通学したという事ではないですが）で履き替える。今は靴箱とか上履き入れと言ったり、ズック入れと称され、**すのこ**の上で外履きと内履きを履き替える。**ズック**ってなんだ？ オランダ語の厚手の平織り布、帆布、テント地などを指すそうだ。この生地で作ったゴム底の布靴があの懐かしい爪先部分がピンクやブルーのズック靴なのです。今では死語かと思っていたら、千坂小学校の **3 月学校だより**に「離任式に参加できる 6 年生は（中略）内履きズックも忘れずに持ってきてください」と書かれていた。今でも**ズック**と言うようだ。多分新素材の靴かと想像するが、かつての小学生（今の高齢者さん）も、今の小学生も共通の言葉があって ほんわかした気持ちになった。過疎化が叫ばれ、高齢化社会の只中と聞くが、私達の町会は若い人が増えて年齢構成グラフもそれを表しています。
多様化した世代間格差を埋めて、スムースな町会運営を続けるためには、ボランティアの世代交代は必須だと思います。幸い次期町会長に推されている、紺野さんはそうした多様性を織り交ぜた組織にしていきたいと語ってくれました。若い人がたくさん参加して、自分たちの生活様式に合った町会、地域社会になっていくことを望みたい。そうしたマニュアル作りもすると言うことです。
私は今期限りで広報委員を降りることになっています。
元木（現相談役）さんが編集されてきた町会紙「千木親和町会かわら版」の 50 号の後を、通番として継がさせてもらい 86 号まで、36 回の発行に携わってきました。
当初年に 5~6 回発行した時は紙面スペースも有って、行事予定など早や出し記事も書けましたが、カラー印刷は経費がかかるということで、ほぼ年 4 回になってしまいました。予告案内等が出来ず、行事の結果の記事ばかりになりました。それでも「楽しみにしてます」と言ってくださる方もいて、なんとか続けて来られました。
その間、桶谷町会長は記事内容に関して一切注文も指示もなく、ただの一文字も変えること無く編集を任されました。原稿を渡すと全てに目を通して、即ご自分で印刷、折込などして頂きました。度量の大きさに感謝しています。突然の訃報に我を忘れましたが、ここにお礼を申し上げて、広報を退任させてもらいたいと思います。
ご愛読くださった皆様に厚く御礼申し上げます。

かがやきサロン代表に　　さんが就かれました。
よろしくお願い申し上げます。

橋の工事完了！

手すりが高くなって、車からの視認性が悪くなったと言う感想や落下の危険性が減ったと言う感想など様々。なにはともあれ、穴が空いて危険だったことが解消され喜ぶべきかと・・・ (-_-;)

訃　　　報
桶谷省三さん （享年７０歳）
令和３年１月１１日逝去
心よりご冥福をお祈り申し上げます。